

平成30年度総社市市民提案型事業 実 績 報 告 会

秦歴史遺産保存協議会

(会員数 320人)

令和元年6月18日

高梁川西岸吉備路歴史再発見事業

(平成30年度申請対象事業)

1. 「秦周辺吉備の国歴史めぐりツアー」の実施。
2. 「新たなわくわく候補地」追加による新企画
秦歴史遺産スタンプラリー実施。
3. 古代吉備の国ジオラマ歴史絵巻物製作。

第1

「秦周辺吉備の国歴史めぐりツアー」の実施。

1.実施日 11月16日(金) 65名 バス2台

2.バス視察先 (高梁川西岸)箭田大塚古墳、秦大黒古墳

(高梁川東岸)三輪丘陵(宮山墳丘墓、展望台、三笠山古墳)

・案内：総社市埋蔵文化財学習の館 平井典子館長、総社市教育委員会 高橋進一主査

3.ディベート大会 サントピア岡山総社2F会場、司会進行 板野会長

・東岸派=古代吉備の国を中心を鬼ノ城・国分寺・造山古墳・吉備津神社附近の吉備路と主張。

・西岸派=古代吉備の国を中心を秦古墳群(一丁丸・茶臼嶽古墳等)・秦原廃寺・

箭田大塚古墳等の存在から、東岸のみならず西岸も加えて考慮すべきと主張。

ディベートの結論=吉備路サイクリングロード、吉備路マラソン、桃太郎伝説など古代吉備の国の話題は東岸が中心となっているが、西岸の史跡も貴重なものが多くあり、PRの対象とすべきとの意見が圧倒的であった。

4.成果=古代吉備の国を吉備路としてPRしていく場合、高梁川西岸の史跡も関連付けて、広域的に情報発信していくことが重要との意見が多数を占めた。

三輪山遺跡(宮山墳丘墓、展望台古墳、三笠山古墳)



平井館長から三輪山遺跡について説明を受ける

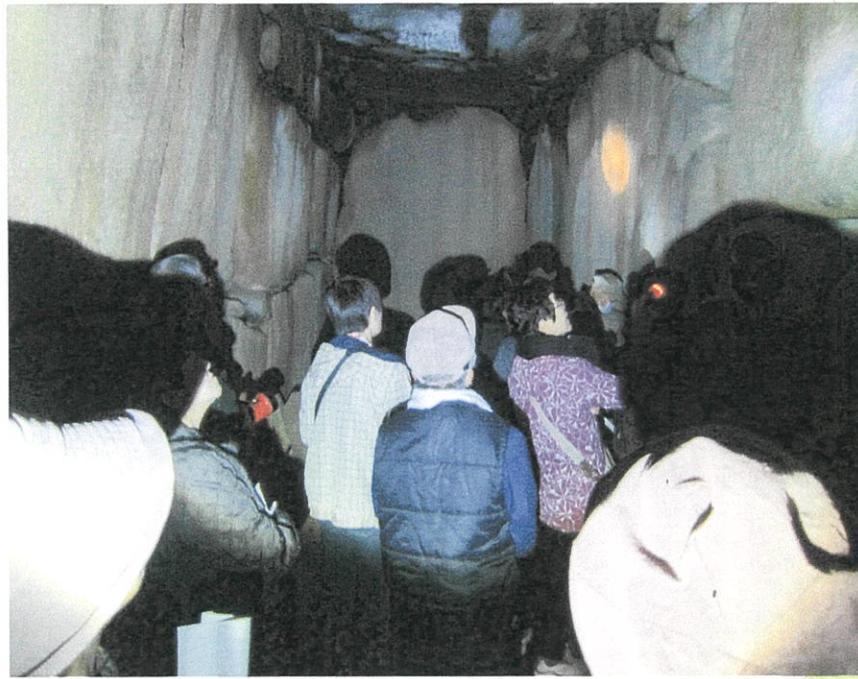


平井館長から宮山墳丘墓について説明を受ける

やたおつか 箭田大塚古墳(倉敷市真備町)



箭田大塚古墳の説明版



ディベート風景



食事の前に



移動中のバスの中で

第2

「新たなわくわく候補地」追加による新企画 秦歴史遺産スタンプラリー実施。

スタンプラリーの候補地に、新たにトレンチ調査が行われている「秦大塙古墳」や伝説の風水古墳、備中兵乱荒平山城合戦陣営を加えるなど、現地を訪れる家族や若い世代の参加者がわくわくする新たな史跡を追加し実施。

- 1.実施日 10月28日（日） 午前8時30分～午後4時 1日コース
- 2.参加者 364名(対前年度比280%の増加)
- 3.新たな候補地等に由緒板・説明板設置 3箇所
- 4.成果、秦大塙古墳、風水古墳、荒平山城合戦跡など秦歴史遺産の新しい魅力をえたことにより、総社市街からの参加や家族連れなど現地を訪れる参加者の 増加があった。
- 5.参加者への記念品提供
秦粘土による干支(えと)の焼物、秦特産のぶどう(紫苑)、地元商工会議所各会社の協賛品、総社市観光協会の商品券。

新しい候補地



風水古墳(未発掘)



荒平山城跡の毛利軍の幟旗(赤)と川西軍の幟旗(青)

スタンプラリー

サントピア岡山総社口ビーにて



H30/10/28日（日）受付風景



チュッピーも応援に

第3 古代吉備の国ジオラマ歴史絵巻物製作。

昨年製作した「古代吉備の国歴史マップ」に対応して、当時海や島であった県南部の古代吉備の国の地形を粘土等で立体模型を製作した。

当時の高梁川の流れや当時の名所旧跡、史跡などを再現。ジオラマ風に仕上げ、解説を加えた音声（CD）を流し、当時の地形を実感できるものを展示。

1.大きさ 縦約100cm×横約100cm
高さ約70センチ（木製台）

2.展示は総社市役所、図書館、サンロード吉備路、総社芸術祭2019、秦小学校、サントピア岡山総社、公民館などの公共施設等。

3.成果として、古代の総社平野が海や川に囲まれた豊かな地形であり、吉備文化の発祥の中心として現在まで発展してきた経緯がよく理解できる。（別添 山陽新聞）

第一回ジオラマ製作プロジェクト会議(H30年6月30日(日))



<参考文献>

古代吉備の国 地図

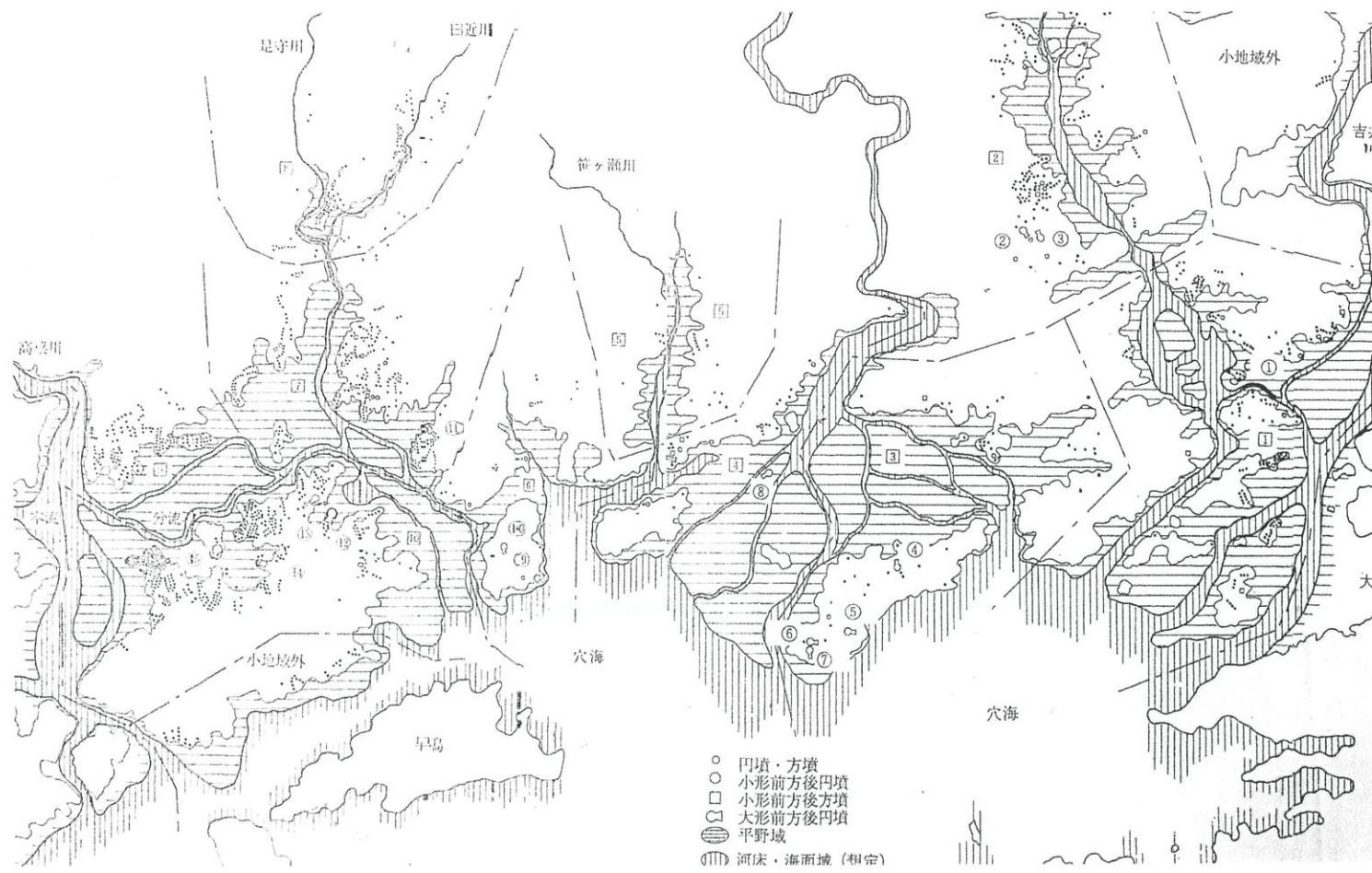
(出典：地形と地理で読み解く古代史 江澤隆志 洋泉社 2017年5月)



<参考文献>

古代吉備の国河川（5~6世紀）

(出典：近藤義朗著 吉備の考古学的研究 1992年11月 山陽新聞)



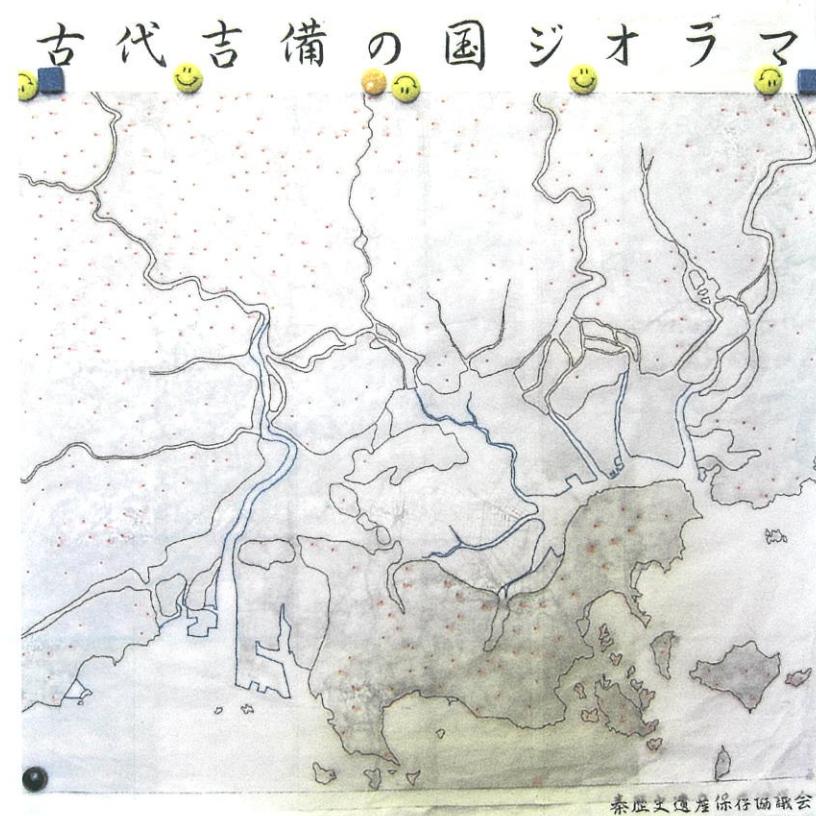
<参考文献>

出典：現在の岡山県地図(備中地域)
国土地理院 1/50000



赤字は主要な山＝すべて標高調査

古代吉備の国 基本設計地図 (現在の地図+古代の地図+古代の河川)



海拔に合わせて釘を盤に打
付ける(650本)



盤に山、海拔、河川の釘
を打付け



釘に紙粘土を巻き付けていく
(片岡裕平ご夫妻の共同作業)



紙粘土の完成



紙粘土に色付け完了

(色付け作業：河合眞作氏)

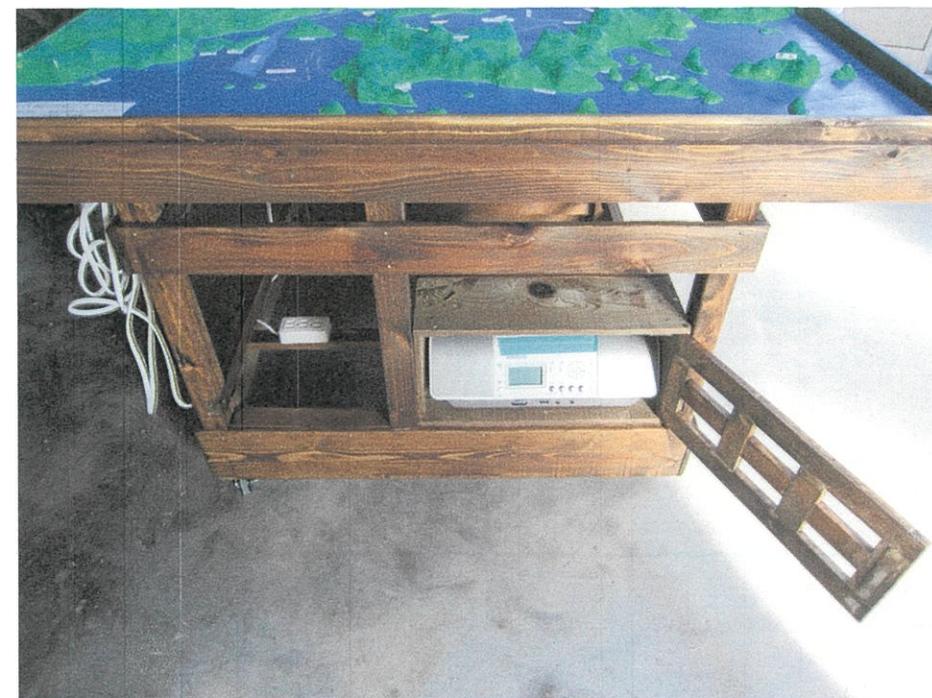


JR駅、河川、山、史跡等を表示



ジオラマの解説用CDカセットデッキ
解説音声吹込み：小西利江さん
ジオラマ台製作：上野信昭氏

古代吉備の国ジオラマ完成



総社市役所にてオープニングセレモニー

山陽日報 2019年(平成31年)3月16日 土曜日 倉敷・総社

28



総社市役所で開口式に展示されている
吉備の地形模型(立体模型)

倉敷・総社圏版

Kurashiki Sōsaiken

古代吉備に思いはせて
総社の住民
立体模型を製作

市役所に展示

3月末まで。その後、国民宿舎サンポートに飾る
は市図書館 総社市中古車販路
お問い合わせください。

会員登録
3月未満まで。その後、国民宿舎サンポートに飾る
は市図書館 総社市中古車販路
お問い合わせください。

倉敷本社
TEL: 086-422-2434
FAX: 086-426-1963

総社支局
TEL: 086-92-0254
FAX: 086-92-4284

児島支局
TEL: 086-471-1400

古代吉備の国ジオラマ音声による説明

古代吉備の国ジオラマは秦歴史遺産保存協議会が製作しました。

岡山県南の吉備の国を中心に東は長船町、西は里庄町までを三世紀から五世紀頃の地形と現在の地形を重ね合わせ、約6万分の1に縮小、材料は紙粘土主体で、主な山の標高等、併せて560ヶ所の海拔を調査し、山については100メートルを1センチとして作りました。

現在の海岸線は、金色の破線で示しています。古代吉備の国は吉備の穴海と呼ばれていた大きな海があり、現在の岡山駅、倉敷駅付近は海の中にありました。桃太郎伝説とも関連する吉備津神社は海辺にあり、またコンベックスのある早島地区は当時島となっていました。

吉備の穴海は、現在では児島湖を残す程度となり、多くが陸地化し、古代の面影はありません。

秦地区には三世紀後半の茶臼嶽古墳、四世紀初頭の一丁塙1号墳はじめ約60基の古墳があり、また飛鳥時代の秦原廃寺のほか、古くからの神社は7つ、そのうち、式内社が2つあるなど、古代吉備の国にふさわしい史跡が多くあります。当時高梁川は南と東の2方向に分かれ、現在の総社市街地をも流れ足守川と合流しており、古代吉備の国は高梁川沿いの総社市あたりを中心に栄えていたものと推測されます。

このジオラマ地形をじっくりながめていると、高梁川が育んだ総社平野は古代吉備の国の中核部にあたります。当地秦の河原では弓月フェスタと称して、古代吉備の穴海に入って来た秦の始皇帝の末裔とされる伝説の渡来人弓月の君を祀るイベントを毎年開催しており、古代ロマンが伝わってくるようです。

なお、上記市民提案型事業の対象でない当協議会の独自事業
(講演会、小学校への出前授業、機関紙発行、各種冊子等)
も併せて目的達成のために活用。

おわり

ご清聴まことにありがとうございました。